



令和6年2月8日

## 災害時にも使用される練習船「鳥羽丸代船」に 新たに搭載する2艇と浮棧橋の名称を校内募集！

応募受付期間：2024年3月25日（月）

鳥羽商船高等専門学校（以下、「鳥羽商船」）は、令和7年3月に竣工予定の「鳥羽丸代船」に搭載する「支援艇」と「交通艇」、さらには「鳥羽丸代船」が安全に係留できるように建造する「浮棧橋」の名称について、鳥羽商船に在籍している学生と教職員から募集することを決定しました。本校の練習船が「鳥羽丸」という名称で長年親しまれてきたように、学生たちに親しみを持ってもらい、災害時にも十分に活躍できる船となることを目的として、名称の募集をいたします。

### \* 鳥羽丸代船 \*

鳥羽丸代船（長さ56m、幅約10m、総トン数約370トン）は、「SMART-Ship」「TRUST-Ship」「FRIEND-Ship」がコンセプトの次世代の船員養成が可能な練習船。先端技術の自律運航・遠隔操船に対応、情報統合型船橋（コックピット型）を採用し、災害支援機能も搭載している。現在の鳥羽丸（長さ約40m、幅約8m、総トン数約244トン）の約2倍の大きさとなるため、安全に係留できるよう新たな「浮棧橋（全長約100m）」の建造と調査観測および災害支援に使用される「支援艇」と「交通艇」が搭載される。

応募資格	・ 鳥羽商船に在籍する学生および教職員
募集内容	・ <b>「鳥羽丸代船」に搭載する「支援艇」と「交通艇」の船名</b> ※災害支援を行う船にふさわしい名称と思われるもの ※現在すでに鳥羽商船が保有する船舶の名称 （鳥羽丸、あさま、あけぼの、しらぎく、しおさい）は除外となります。 ・ <b>新「浮棧橋」の名称</b> ※自然豊かでおだやかな池の浦にふさわしい名称と思われるもの ・ 応募される「船名」、「棧橋の名前」について、 その <b>コンセプトとアピールポイント</b> についても記載してください。 ・ 使用できる文字種は、 <b>漢字、ひらがな、カタカナ、アラビア数字、ローマ字</b> となります。
応募方法	・ <b>鳥羽商船に在籍する学生及び教職員</b> 「Microsoft Forms」による Web フォームから応募 URL： <a href="https://forms.office.com/r/Y9nv6tE8Wu">https://forms.office.com/r/Y9nv6tE8Wu</a> ※Web フォームへの応募には、学校から付与された Microsoft365 アカウントでのログインが必要となります。
応募締切	<b>2024年3月25日（月）必着</b>
選考方法	1. 「船名」、「棧橋の名前」、「コンセプト」及び「アピールポイント」を基に 選考委員会にてそれぞれ3点、名称を選考します。 2. 上記1. を基に予選審査を行い、選考委員会に諮る作品を選定します。



	3. 予選審査を通過した作品は、選考委員会に諮り、グランプリその他の受賞作品（特別賞数点）を決定します。（2024年4月下旬予定）
結果発表	<b>本校のホームページ、公式 SNS にて発表します。</b> 学校ホームページ： <a href="https://www.toba-cmt.ac.jp/">https://www.toba-cmt.ac.jp/</a> 公式 SNS： <a href="https://twitter.com/toba_kosen">https://twitter.com/toba_kosen</a> （公式 X アカウント） <b>※受賞者には記念品を贈呈いたします。</b>
応募作品の取り扱いと注意事項	1. 応募作品は、応募者が創作した未発表の作品とします。 2. 応募作品は、その中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を利用していないものとします。また、企業名、店名や商品名等が入った作品は選考対象外となる可能性があります。 3. グランプリ受賞者は、グランプリ作品の著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む。）を、本校に帰属することを認めることとします。 4. グランプリ及びその他の受賞者並びに予選通過作品の応募者は、応募作品を本校のホームページ、その他広報等を通じて公表することを認めることとします。 5. 上記 4. の公表時及びグランプリ作品の使用時には、本校学生においては、応募時に所属していた学科または専攻、学年、氏名を、教職員においては、氏名を記載することがあります。
コンテスト全般のお問い合わせ先	〒517-8501 三重県鳥羽市池上町 1 - 1 独立行政法人国立高等専門学校機構鳥羽商船高等専門学校 創基 150 周年・高専創立 60 周年記念事業委員会 搭載艇・浮棧橋名称検討担当 E-mail：150-meisyo@toba-cmt.ac.jp



池の浦上空から見たキャンパス全体



◆支援艇イメージ図◆



①支援艇「YANMAR FX27Z」

【<https://www.yanmar.com/jp/marinepleasure/pleasureboat/fx27z/>】

艇体色は未決定（おそらく白）

船質：FRP

全長：8.8m

定員：10名

最大出力：125kW

航行区域：沿海区域（母船から半径5マイル以内）・夜間航行仕様

装備品：GNSSプロッター・レーダー・AIS・マルチビームソナー・GPSコンパス・サーマルカメラ・  
ウィンドセンサー・VHF無線機・サーチライトなど

その他：GNSSプロッターやマルチビームソナーなどを装備し、調査観測に使用される。災害支援時には、鳥羽丸代船の支援（港内の水深などの調査）を行う。鳥羽丸代船が接岸できない場合には物資・人員輸送を行う。

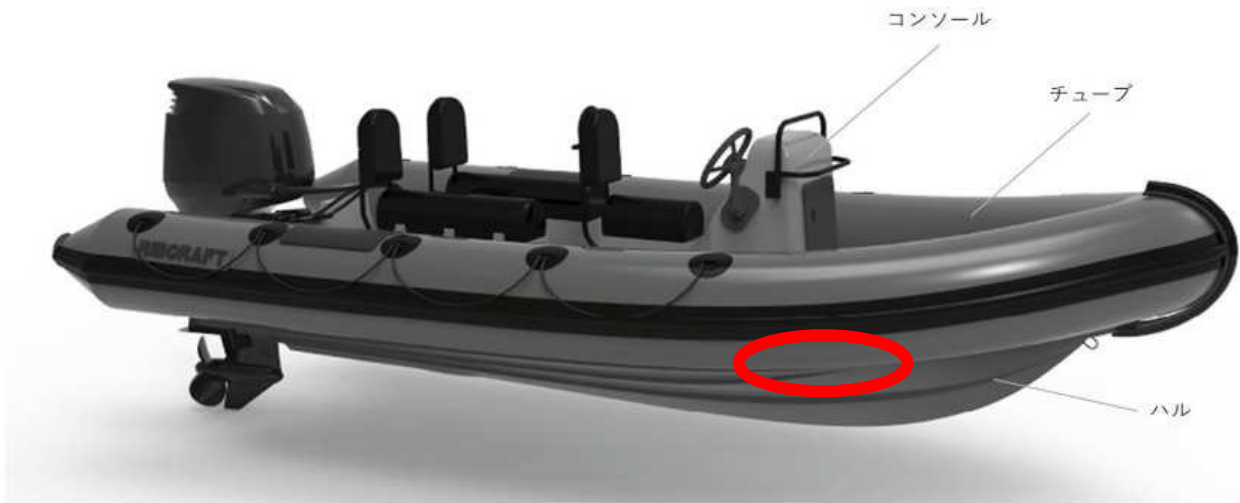
船名（○の位置）：船前方の右舷・左舷の2か所と後方の1か所 計3か所

※文字の大きさや字体は指定できません。

※配置は、船体イメージ図にある予定場所から若干ずれる場合があります。



◆交通艇イメージ図◆



②交通艇「RIBCRAFT 5.3」

【<https://ribcraft.co.uk/rib-boat-models/ribcraft-5-3/>】

艇体色は CG 通りになります。

船質：複合艇

全長：5.3m

定員：8名

最大出力：51.4 kW

航行区域：沿海区域（母船から半径 5 マイル以内）・夜間航行仕様

装備品：マルチファンクションディスプレイ・GNSS・AIS・マルチビームソナー・GPS コンパス・  
サーチライトなど

その他：頑丈な艇体で安定性に優れ、調査観測に使用される。災害支援時には、支援艇と共に鳥羽丸  
代船の支援を行う。

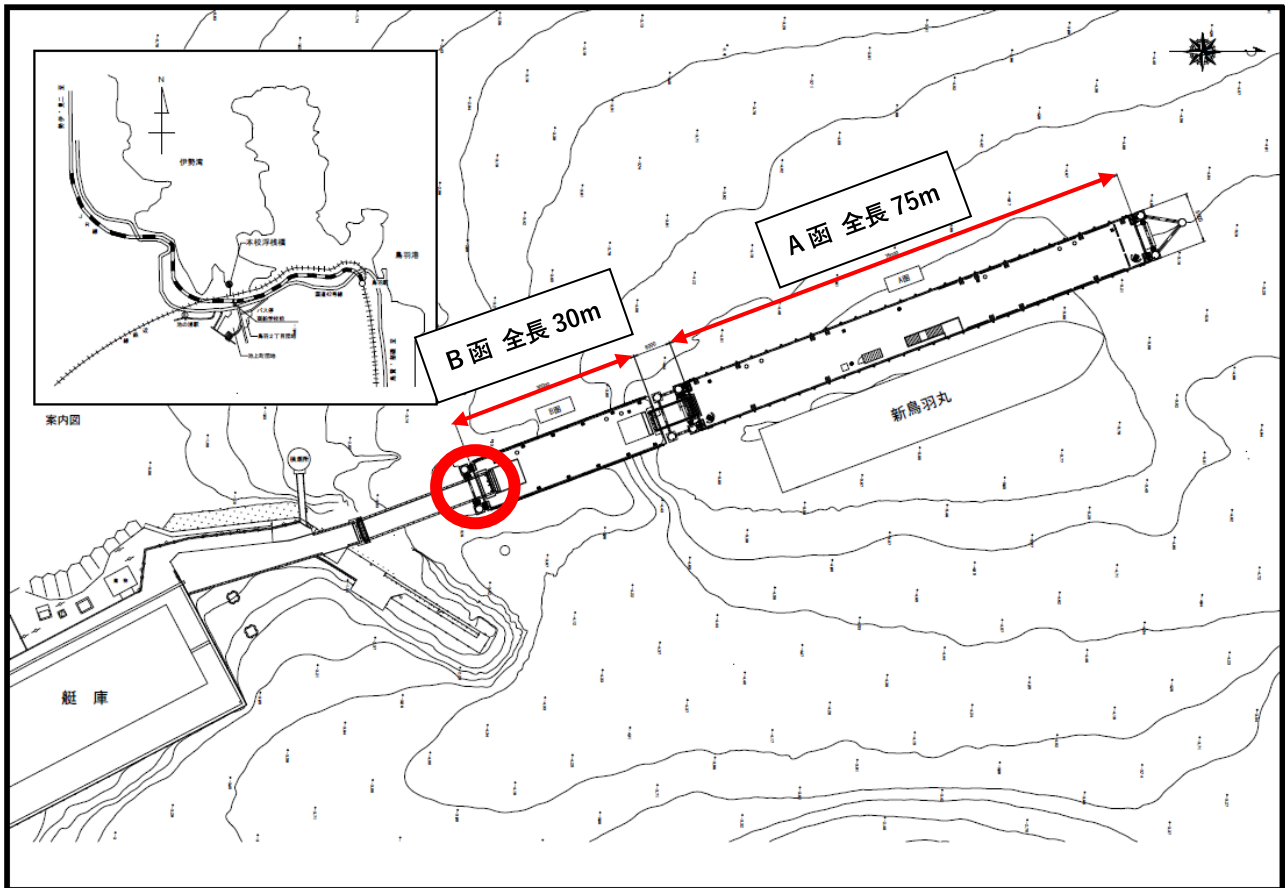
船名（○の位置）：船前方の右舷・左舷の 2 か所

※文字の大きさや字体は指定できません。

※配置は、船体イメージ図にある予定場所から若干ずれる場合があります。



◆新「浮棧橋」イメージ図◆



③浮棧橋

構造：P Cハイブリッド構造

係留方式：鋼管杭係留方式

大きさ：A函 600 m<sup>2</sup> (全長 75m×幅 8m)、B函 240 m<sup>2</sup> (全長 30m×幅 8m)

その他：鳥羽丸代船の大型化に伴い、浮棧橋A函が既存の全長 60mから全長 75mに拡張します。そのため、既存の浮棧橋と比べ、浮棧橋内の物資倉庫もひと回り大きなものになり、災害時には、物資等の集積、集配場所として活用することができます。その他にも。鳥羽丸代船だけでなく、支援活動を行う他高専の船や行政機関の船も着棧できるよう浚渫工事も計画しています。

浮棧橋名 (○の位置)：浮棧橋入口に銘板を設置。

※文字の大きさや字体は指定できません。

※配置は、イメージ図にある予定場所から若干ずれる場合があります。